

2018年度

自 2018年4月1日  
至 2019年3月31日

# 事業報告書

公益財団法人 木村看護教育振興財団

## 2018年度 事業報告書

### 1 海外看護研修助成－長期海外研修－（公募事業）

看護師・助産師・保健師の資格を有する者であって一定の英語力を有するものを対象として、3週間の研修に要する研修費、滞在費、往復航空運賃等を全額助成する。2018年(平成30年)度は以下の通り実施した。

#### ① 研修先

アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター メイヨークリニック

#### ② 研修者数

次の7名を派遣した。

佐藤雅子（神戸大学医学部附属病院）、高山良光（南奈良総合医療センター）、中山祐紀子（医療法人社団杏順会 越川病院）、範國由紀子（淀川キリスト教病院）、松村彩未（東北大学病院）、森山弘子（大阪大学医学部附属病院）、吉部恵理子（北里大学病院）

#### ③ 研修期間

2018年9月15日（土）から10月7日（日）までの3週間  
（別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照）

### 2 看護研究助成（公募事業）

医療機関等で実際に看護等の業務に携わっている看護師・助産師・保健師の資格を有する者又はその者を含む研究グループを対象として、1件当たり100万円を限度として助成する。

2018年(平成30年)度は、次の者が代表研究者である研究5件に対し助成した。

秋場美紀（代表研究者 東北大学病院）、飯岡由紀子（代表研究者 埼玉県立大学）、北村香織（代表研究者 新潟大学大学院医歯学総合研究科）、千崎美登子（代表研究者 北里大学病院）、中村マリ子（代表研究者 広島大学病院）  
（別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照）

### 3 専門看護師奨学金助成（公募事業）

看護系大学大学院専門看護師教育課程2年次進級予定者に対して、1件当たり年額60万円の助成を行う。

2018年(平成30年)度は次の11名に対して助成を行った。

青木まり子(順天堂大学大学院)、麻生咲子(聖路加国際大学大学院)、入矢涼子(川崎医療福祉大学大学院)、工藤紘子(旭川医科大学大学院)、塩川ゆり(兵庫県立大学大学院)、寺尾多恵子(日本赤十字看護大学大学院)、新見秀美(大阪府立大学大学院)、藤本麗子(東京慈恵会医科大学大学院)、本田輝子(広島大学大学院)、前田愛(東京女子医科大学大学院)、山田裕子(富山大学大学院)

(別紙「事業報告に関する附属明細書」を参照)

#### 4 看護に関する講演会の開催

##### (1) 東京における開催

次の通り、第76回看護に関する講演会として開催した。

- ① 日時 2018年(平成30年)11月10日(土)13時~17時30分
- ② 会場 東京都千代田区霞が関 新霞が関ビル灘尾ホール
- ③ 演題 「未来を拓く 看護の力 -2025年における医療・看護・介護ニーズの複合化への対応と注目事例-
- ④ 内容
  - 講演
    - ア 講演1 松田晋哉 産業医科大学医学部 公衆衛生学教授  
「2025年の医療・看護・介護ニーズの複合化への対応と看護への期待」
    - イ 講演2 クリストファ・コーラー メイヨークリニック アドミニストレータ  
「Mayo Clinic Dialysis Services」
    - ウ 講演3 西野憲史 医療法人ふらて会理事長・西野病院病院長  
「地域包括ケアに向けたネットワーク構築・情報共有・医農連携の展開と看護の力」
    - エ 講演4 湯澤由紀夫 藤田医科大学病院病院長  
「大学病院が参加する地域医療連携推進法人『尾三会』の取り組み」
    - オ 講演5 山田宇以 聖路加国際病院リエゾンセンター心療内科副医長  
奥野史子 同病院心療内科研究員・精神看護 CNS  
(現在 伊勢赤十字病院看護係長)  
「急性期病院全体で取組む、せん妄の予防と対策」

○パネルディスカッション

「2025年における医療・看護・介護ニーズの複合化への対応と看護への期待」をテーマとして松田晋哉教授がファシリテータとなり、講演を行った6名の方々により実施した。

⑤ 参加者 336名

(2) 長野県における開催

長野県看護協会との共催により、次の通り第75回看護に関する講演会兼長野県看護協会創立70周年記念講演会を開催した。

- ① 日時 2018年6月23日(土) 13時30分～16時30分
- ② 会場 長野県看護協会 大ホール
- ③ 講師 川嶋みどり氏 日本赤十字看護大学名誉教授等
- ④ 演題 70年を振り返り未来につなげたい看護の心
- ⑤ 参加者 570名

(3) 栃木県における開催

栃木県看護協会との共催により、次の通り第77回看護に関する講演会を開催した。

- ① 日時 2019年(平成31年)1月12日(土) 13時30分～16時
- ② 会場 パルティとちぎ男女共同参画センター
- ③ 講師 勝原裕美子氏 オフィス KATSUHARA 代表
- ④ 演題 組織の倫理課題に向き合う看護職  
ー強くしなやかに看護師が一步前進できるようにー
- ⑤ 参加者 219名

5 国内外の看護関係者の集いの開催

2018年(平成30年)11月10日(土)夜、霞が関において、第76回講演会の開催に引き続き、看護関係者の集いを開催した。

看護関係者の集いでは、木村代表理事の挨拶に続き、厚生労働省老健局長、日本看護協会会長(代理)、日本訪問看護財団理事長、全国訪問看護事業協会会長(代理)、メイヨークリニックのクリストファ・コーラー氏の挨拶等が寄せられ、また、当日の講演会で講演した松田晋哉産業医科大学教授ほかの方々、関係機関・団体やこれまでの当財団助成対象者も多数来場され181名を数える盛会となった。

会場は、関係機関の方々、メイヨークリニックの方々、メイヨークリニック等で

かつて研修した助成対象者等が活発に交流し、我が国と米国の医療・看護に関する情報交換もなされるなど有意義な集いの場となった。

## 6 医療・看護・介護に関わる新たな取組みについての調査

### (1) 高度な看護実践に係る調査

- 本調査は、高度な看護実践について専門的な研修が実施されている場合において、その研修に対する助成が当財団の目的に合うか等を調査し、適切と認められる場合に新たな事業の可能性の検討につなぐことを目的として2013年(平成25年)度から実施している。

これまでの調査により、以下2件のニーズを確認している。

- ① 緩和ケアについて既に一定水準の知識・経験・技能を有する看護師を対象として2014年(平成26年)度から行われている専門的緩和ケアプログラム研修への支援
- ② チーム医療の高度な実践のため、海外医療機関における医師・看護師・その他スタッフによるチーム医療の実際(意思決定、連携状況、情報共有等)について学びたいとのニーズ

①は緩和ケア推進を目的として研修を行っている公益法人の取組みであり、同法人では研修ツール「専門的緩和ケア看護師教育プログラム」(略称SPACE-N)について、2016年(平成28年)度から2年間にわたりその有効性の検証を行っており、その検証結果の精査が行われているところである。

②については、メイヨークリニックでの2回目の研修を希望するニーズを調査したところ、極めて少数であったことから、現在の同研修に再度参加することでニーズに対応できるという結論に達した。

### (2) 訪問看護に必要な看護実践に係る調査

- 本調査では、これまで在宅医療・訪問看護の実態や課題、支援策について国、自治体、医療機関、関係団体に対してインタビューを行い、ニーズの内容や研修等の状況を把握してきている。

#### 【これまでの主な訪問先】

厚生労働省、東京都、静岡市、北九州市、日本看護協会、首都圏所在看護協会、日本訪問看護財団、東京大学大学院、京都大学大学院及び同医学部附属病院、産業

医科大学、国立長寿医療研究センター、千葉大学大学院、聖路加国際大学及び同病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、藤田医科大学及び同病院地域包括ケア中核センター、日本赤十字社医療センター、済生会熊本病院、淀川キリスト教病院、尾道市民病院、遠賀中間医師会おんが病院、医療法人ふらて会西野病院、霞が関南病院、志村大宮病院、山形県鶴岡地区医師会、東京都板橋区医師会、22の訪問看護ステーション等

- 2018年度も国や自治体が在宅医療・看護の強化に取り組んでおり、全国的に在宅看護の研修が幅広く活発に実施されている。主催者も自治体、看護協会、医療機関等と多様であり対象者も医療関係者・施設関係者から地域住民まで様々である。
- このようなことから、当財団が新たな研修を設けるなどの対応を行う必要はないと考える。従って、当財団は、看護研究、専門看護師奨学金、講演会等の事業の中で、在宅医療・看護に関わる研究の採択や、人材の育成、医療・看護の将来見通しと取組みに関わる新しい情報の提供という形で取組みを行うこととし、取り組んでいる。

### (3) 医療・看護・介護に関わる新たな取組みについての調査

地域包括ケアシステムづくり等に取り組んでいる有力自治体や地域医療を担う医療機関、高度急性期病院等に対して訪問調査を行うとともに、それにより把握した注目すべき取組みのうち適切なものについて東京講演会での発表につなぐ等を行っている。

## 7 刊行物の発行等

### (1) 海外看護研修レポート 2017

関係機関・施設の参考に供するため、1,000部を刊行し、全国の看護系大学及び350床以上の病院並びに関係省庁や全国職能団体等に提供した。

### (2) 看護研究集録 25

看護研究集録についても910部を刊行し、全国の看護系大学及び主要な病院に配布した。

### (3) 2017年(平成29年)度 東京講演会の記録

2013年(平成25年)11月に当財団創設22周年を記念して開催した東京講演会には、それ以降毎年度、多数の方の参加を得ており評価を頂いていることから「講演会の記録」を刊行している。

2017年度の講演会についても、その内容を全国の看護系大学・病院等に情報提供するため、登壇者やメイヨークリニックの協力を得て、講演、プレゼンテーション等を収載した講演会の記録を1,470部刊行し配布した。

2018年(平成30年)11月に開催した東京講演会についても「講演会の記録」の作成を進めており、本年6月に刊行する予定である。

## 8 助成金贈呈式等及び医療・看護関係者の集い等

### (1) 2018年度助成金贈呈式

2018年(平成30年)6月15日(金)、東京千代田区の霞が関ビルの東海大学校友会館にて、看護研究助成及び専門看護師奨学金助成の対象者に対して、理事、評議員等が出席し開催した。

### (2) 海外看護研修認定式・オリエンテーション及び研修報告会

#### ① 認定式・研修オリエンテーション

2018年7月3日(火)、霞が関ビルの東海大学校友会館にて、研修生に対して認定式を行った。また、オリエンテーションを実施した。

#### ② 海外看護研修報告会

2018年12月11日(火)、霞が関の東海大学校友会館にて、理事、評議員等並びにメイヨークリニック研修経験者等の方も出席して開催した。

### (3) 米国看護師と我が国看護師との交流に関する支援

2018年10月30日(火)から11月12日(月)まで我が国に滞在したメイヨークリニックの看護師4名と我が国の看護系大学やナショナルセンター、病院等が交流するに当たり、当財団は、事前に交流に関する日程調整を行うとともに、自らも米国看護師との意見交換や視察の支援等を行った。

### (4) 2019年(平成31年)度の助成事業に対する公募及び応募者への対応

① 当財団は、2019年度の助成事業について、2018年10月11日から2019年1月24日までを受付期間として公募を行った。

② 公募実施のお知らせは、財団ホームページに掲示するとともに、各出版社の協力を頂き看護専門誌10誌にお知らせの掲載を行った。

- ③ また、2018年12月初旬に全国の350余の主要病院等に募集要綱を送付した。

以上



2018年度

## 事業報告に関する附属明細書

- 1 海外看護研修助成対象者名簿
- 2 看護研究助成対象者名簿
- 3 専門看護師奨学金助成対象者名簿

1 2018年度 海外看護研修助成対象者名簿

メイヨークリニック 7名

敬称略 五十音順

氏名	勤務先	職名
さとう まさこ 佐藤 雅子	神戸大学医学部附属病院	副看護師長 (看護師・保健師)
たかやま よしみつ 高山 良光	南奈良総合医療センター	看護師
なかやま ゆきこ 中山 祐紀子	医療法人社団 杏順会 越川病院	看護師長 がん看護専門看護師
のりくに ゆきこ 範國 由紀子	淀川キリスト教病院	看護師 (看護師・助産師・保健師)
まつむら あやみ 松村 彩未	東北大学病院	看護師 (看護師・保健師)
もりやま ひろこ 森山 弘子	大阪大学医学部附属病院	副看護師長 (看護師・保健師)
よしべ えりこ 吉部 恵理子	北里大学病院	看護主任 (看護師・保健師)

2 2018年度 看護研究助成対象者名簿

5件 3,601千円

敬称略 五十音順  
単位:千円

代表研究者 氏名	勤務先	職名	研究課題	助成額	申込額
あきばみき 秋場美紀	東北大学病院	看護師	植込み型補助人工心臓 (IVAD) 装着患者における在宅療養のための支援内容の明確化	461	596
いらい高かゆき 飯岡由紀子	埼玉県立大学	教授	内分泌治療中の乳がん患者の支援プログラムの臨床評価	700	1,000
きたむらおほり 北村香織	新潟大学大学院医歯学総合研 究科	助教	地域在住高齢者の認知機能低下予防プログラムの開発	680	680
きたむらみ登子 千崎美登子	北里大学病院	師長 がん看護専門看護師	進行膵がん患者・家族とがん看護専門看護師とのパートナーシップに基づく看護面談の評価	761	1,000
なかむらまり子 中村マリ子	広島大学病院	看護師長	小児がん拠点病院と診療病院の看護師長会によるアクション・リサーチ： 小児がん経験児の復元・復学に向けての母親へのニーズ調査	999	999
合 計				3,601	4,275

3 2018年度 専門看護師奨学金助成対象者名簿

11名

敬称略 五十音順

氏 名	大 学 院 名	専 門 分 野
あおき まりこ 青木 まり子	順天堂大学大学院	母性看護
あそう さきこ 麻生 咲子	聖路加国際大学大学院	がん看護
いりや りょうこ 入矢 涼子	川崎医療福祉大学大学院	がん看護
くどう ひろこ 工藤 紘子	旭川医科大学大学院	老人看護
しおかわ ゆり 塩川 ゆり	兵庫県立大学大学院	在宅看護
てらお たえこ 寺尾 多恵子	日本赤十字看護大学大学院	慢性疾患看護
にいみ ひでみ 新見 秀美	大阪府立大学大学院	急性・重症患者看護
ふじもと れいこ 藤本 麗子	東京慈恵会医科大学大学院	がん看護
ほんだ てるこ 本田 輝子	広島大学大学院	がん看護
まえだ あい 前田 愛	東京女子医科大学大学院	精神看護
やまだ ひろこ 山田 裕子	富山大学大学院	がん看護